

連載 ④ フランク・ロイド・ライトに魅せられて

古本 竜一

S・C・ジョンソン&サン社管理棟並びに研究実験棟



ジョンソン・ワックスビルは、最初にキノコ型の柱（“デントリフォーム”とライトが呼ぶ）が林立する管理棟が建設された（1936年～39年）。管理棟内部の平面は約39m×62.5m、2層の吹き抜け空間には54本のキノコ型の柱が立ち並んでいる。金網の入ったコンクリート製のその柱は高さ7.2m、直径は下端で23cm、上部の円盤部で5.4mとなっており、柱の中心には排水管が通っている。光は上部円盤の隙間と壁、天井とが接する部分からのみ注がれる。その際、光はガラスチューブを通じて採られるため、室内には微妙な明るさを持った空間が演出されている。このガラスチューブはコーキング社が当時開発したばかりの科学用パイレックス製で、最先端の素材だった。ライトの先端技術への柔軟な発想が見て取れる。



ところで、このキノコの柱が並ぶ大空間はジョンソン・ワックスに採用する前の1931年にオレゴン州セイラムの新聞社・キャピタルジャーナル社に提案されたが、結局、幻のプロジェクトに終わった。管理棟のキノコ型の柱とトップライトの効果は極めてユニークな発想で、未だこの空間に替わる建築を見ていない。ちなみにコーキング材が開発されるまでは、ガラスチューブからの雨漏りが絶えなかったらしい。

その10年後にジョンソン・ワックス研究棟(1944年～50年)が建設された。この研究棟はエレヴェーションからは7階建に見えるが、内部のメザニン（中二階）を加えると14階である。中心に階段とエレベーターを持つコア部分が木の幹の様に立ち上がり、そこから枝の如く伸びるキャンティレバーによって床が支えられている。

現在もジョンソン社自身、この本社社屋を大変愛しており、非常に良い状態にメンテナンスされ、家具、照明器具等は当時のままに保たれ使用されている。非常に残念だが、建物内部の撮影が企業秘密のために禁止されていて、ある種、宗教空間にも通じる静謐な光景は我が記憶の中にあるのみである。余談だが、ジョンソン社の敷地内にはノーマン・フォスター卿が設計した「FORTALEZA HALL」も建設されている。設計者の選定に際し、なぜコンペを実施することなくフォスター卿を選んだのか案内担当者へ聞いたところ、「環境へ配慮する設計ポリシーに共感を得た」との言葉が返ってきた。ライトのジョンソン・ワックスも現代に通じるエコロジー設計が意欲的に取り入れられ、“美”へと昇華された建築だ。ライトとフォスター、その思想は時代を超え、同社の精神の基軸で繋がっていたのだった。



参考文献 ★三沢浩著 「フランク・ロイド・ライトのモダニズム」(彰国社)

MONTHLY 建築士
 No.100

IROSHIMA



表紙写真について

広島マツダ ショールーム

- 設計監理／株式会社 マキ建築設計事務所
- 構造設計／有限会社 照井構造事務所
- 施工／株式会社 河崎組
- 所在地／広島市佐伯区五日市
- 構造規模／ショールーム棟 鉄骨造2階 1,627.84㎡
建物高さ 8.487m
- 工場棟 鉄骨造平屋 835.21㎡
建物高さ 6.734m
- 基礎／直接基礎（ベタ基礎） 一部SRC
- 敷地面積／5,316.85㎡
- 延床面積／2,548.43㎡
- 用途／自動車販売店舗・自動車修理工場・その他
- 撮影／有限会社 宇和写真広島

自動車メーカー「マツダ」の基幹ディーラー「広島マツダ」が石内地区に新拠点を出店するに際し、地元ディーラーとして、「地域環境に配慮し、”与えるイメージを大切に”」をコンセプトとしてデザインしました。



特に幹線道路（県道71号線）際の建物として、また、スマート地域としての取り組みもある地区で、分かりやすく見て優しいデザインを目指しました。

扇型のショールームの列柱は、困いと解放の2面性を備えたエレメントで、車両展示はディーラーとしてのこだわりある配置にし、人と車との関わり合いを表現できたショールームとなりました。自然の敷地形状を崩さないように計画し、緑化も積極的に敷地周囲に設けました。エネルギーの有効活用で太陽光発電設置、また全施設をLED照明としています。

入会金免除キャンペーン実施中!!

広島県建築士会会員増強推進チーム

広島県建築士会の会員の皆様、この機会に一人1名勧誘運動にご協力ください。

●新規加入者

入会金3,000円 免除

期間：平成27年3月～8月の6カ月間

●入会紹介者（建築士会会員）の所属支部へ

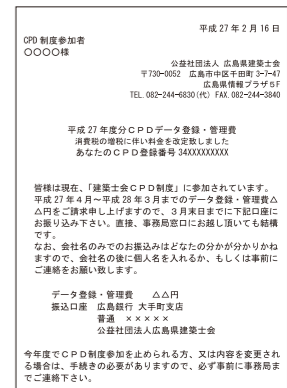
1,000円／人の交付金支給

期間：平成27年3月～平成28年2月の1年間

CPD管理料・27年度(次年度)分のお支払いについて

建築士会CPD制度に参加されている皆様には、ハガキで27年度データ管理料のお支払いのお願いをさせていただきます。3月末日までにお支払いいただきますようお願い申し上げます。なお、消費税増税に伴い、管理料を改訂しております。ご了承下さい。

*参加内容に変更がある方、26年度でCPD制度への参加を取り止める方は必ず事務局までご連絡下さい。



CPD認定プログラム(3月の広島県内実施分)

2月12日現在

日時	プログラム名	単位	主催	連絡先
3/13	「三方良し」の「プロセス管理」で工事成績向上	6	インターウェブ	099-812-0677
3/14	江田島術科学校見学会	3	広島県建築士会呉地区支部	0823-25-0230
3/24	天井の耐震診断、耐震設計と耐震対策	3	アマノ	0848-20-2195
3/28	古(いにしえ)より潮待ちの港として栄えた鞆の浦を訪ねる旅	7	岡山県建築士会女性部会	086-431-2566

変更届けは提出していますか?

ご自宅の住所や勤務先が変更になられた方、登録事項の変更手続きをお忘れなく行って下さい。(士法では変更から30日以内に届け出ることが定められています。)建築士法の改正もあり、建築士としての正確な登録要件は非常に重要となります。

●建築士としての手続き

住所・勤務先の変更のみ→「○○建築士住所等の届出」を提出(郵送可)。お仕事を辞められた方も「勤務先無し」で手続きを行って下さい。

*一級建築士／二級・木造建築士(広島県登録の方のみ)
広島県建築士会ホームページから書式が取り出せます。

<http://www.k-hiroshima.or.jp/index.html>

*二級・木造建築士(他県で免許登録されている方)
登録されている都道府県で手続きを行って下さい。

★提出先：広島県建築士会・本部事務局

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47

広島県情報プラザ5F

TEL：082-244-6830(代)

●建築士会会員としての手続き

建築士の免許登録の申請・変更をしても、広島県建築士会会員の登録内容が変更されませんので、広島県建築士会の変更も行って下さい。本部事務局までFAX(082-244-3840)でお知らせ下さい。

安全で安心な住まいづくりをサポートします。

◆ 建築確認・検査

◆ 住宅性能評価

◆ フラット35適合証明

◆ 長期優良住宅技術審査

◆ 低炭素建築物技術審査

◆ 住宅かし担保責任保険

住宅保証機構(株) (まもりすまい保険)

(株)住宅あんしん保証 (あんしん住宅瑕疵保険)

(株)日本住宅保証検査機構 (JIO わが家の保険)

(株)ハウスジューメン (ハウスジューメン住宅かし保険)

ハウスプラス住宅保証(株) (ハウスプラスすまい保険)



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 広島建築住宅センター

URL:<http://www.hkjc.co.jp>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974

株式会社 **ティーエス ハマモト**

一級建築士事務所 ISO9001 認証取得



大規模修繕工事
各種環境対応事業
調査 診断 設計 施工

〒731-0135 広島市安佐南区長束4丁目16-2
TEL 082-238-1511 FAX 082-238-1513

竹中工務店

守る、
創る、
思いやる、
ビルへ。



災害から人々の暮らしを守る。
エネルギーを創り、分けあう。
都市を、そして地球を思いやる。
これからのビルはこうじゃないとね。

思いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

オギュスタン・ベルク氏 広島にて風土を語る 演題「プラトンのコーラの現代的意味について」

昨年、広島県建築士会広島支部、(公社)広島県建築士会、(一社)日本建築学会・中国支部、地理科学学会、(公社)日本都市計画学会・中国四国支部の共催により、独自の風土論を確立されたフランスの著名な日本研究者オギュスタン・ベルク氏(フランス国立社会科学高等研究院退任教授)をお招きして、講演会を開催しました。氏は長年日本に滞在され、日本の文化や風土に造詣が深く、地理学から発して風土学という領野を拓き、「空間の日本文化」や「風土の日本」など、多くの著書があります。

今回の演題は「プラトンのコーラの現代的意味について」という、少し耳慣れないものでした。しかしその内容は、近年、全国各地で積極的に進められている地域特性を活かしたまちづくりや、次世代の環境都市の創造に深く関わるもので、プラトンのコーラ(場)の考え方を基に、我々の暮らしや風景の根底にある「風土」についてご説明されるものでした。

会の後半に開催された錦織亮雄氏との対談では、そのお考えをより具体的に説明されるため、前日に見学された「厳島神社」とその周辺環境について取り上げられ、その風景をつくっているコーラ(場)についての認識が低い広島の現状について話されました。そのお話しの中で、「厳島神社周辺には、厳島神社が存在することに刻印するコーラがある。そして、そのコーラと共にある厳島神社や対岸の建築は一つの風景において分けて考えることはできない。しかし、現在の厳島神社周辺で



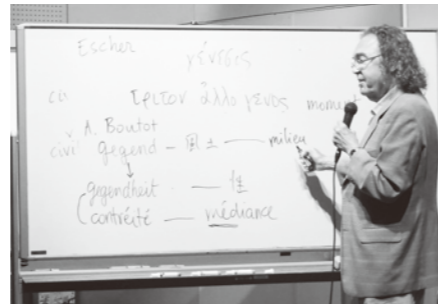
は、そのコーラと共にあるそれぞれの存在を考えるとなく対岸に建物をつくっている。これはとても残念なことであり、社会的問題である」というような苦言を残されました。あらためて言うまでもないことですが、今回、氏が取り上げられた社会的問題は、厳島神社周辺の環境のみならず、日本の各都市における問題であると言えます。

2013年の広島県建築士会の総会にお招きしたナスリーン・アジミ氏も「日本の都市再生への挑戦」と題したご講演の中で、現在進行中の広島駅周辺の再開発を話題として取り上げられ、利便性だけでなく場所性をもって街を再考することの大切さを告げられました。

来たる2020年の東京オリンピックの年には、世界中から多くの人々が訪れ、日本の「風土」や「風景」を求めて各地を巡ることになります。しかし私たちは、その来訪者を広島のような「場」でお迎えすれば良いか分かっておりません。それ故に、これまでの両氏のお言葉を真摯に受け止め、それぞれの「場」についてもう一度捉え直し、その「場」にふさわしい空間やモノの在り方について考え、あらためて広島の「風土」を培っていく必要があります。

そして、そのためにはまず、それぞれの街(界隈)にどのような「場」をつくるのかを考えた上で、それぞれの敷地内の建築を考える…というスタンスをあらためて持つことが大切になると思います。

広島支部まちづくり委員会 三島 久範



地域だより 広島

御手洗・竹原のまち並み巡り

広島支部 見学委員会 吉谷 勝美

昨年12月6日(土)、広島大学大学院の三浦正幸教授の解説で、御手洗・竹原の伝統的建造物群保存地区を巡りました。(会員以外の方を含め、25名の参加者)

①御手洗地区

江戸時代に潮待港として栄えた御手洗は、神社・寺に限らず一般の家にも本瓦葺きが多く残り、重厚感ある屋根がまち並みを引き締めていました。その瓦の形や文様から建設された年代が推測できるそうで、そのポイントを教えていただきました。

②竹原地区

まち並みの雰囲気は、まさに安芸の小京都。NHK「マッサン」のふるさと「竹鶴酒造」の町です。屋根の

形が変わっているのは、庶民の建築規制をくぐり抜ける熱意と技術者の知恵の結果だとの話に、一同が頷きました。

三浦教授から町の歴史的な背景や建築物・まち並みの解説を聞きながら、その魅力に引き込まれ、見どころ満載の見学会は、小雪が舞い始めた夕方に閉じました。

今後も、皆様のご参加をお待ちしております。



尾道探訪 2

6月13・14日に尾道で開催される「青年・女性建築士の集い 中四国ブロック 広島大会」開催まで、あと3カ月余りとなりました。

尾道支部 米田 雅治

尾道の老舗旅館—その2「竹村家」

竹村家は明治35年に「アサヒビアホール」の看板を掲げた洋食屋として、防地川河口に創業。当時の様子は志賀直哉の小説「暗夜行路」



にも登場します。現在、防地川は整備され往時を偲ぶことはできません。大正7年に火事で全焼。大正9年に建て替え、その際に木造2階建て数寄屋造りの料理旅館として再出発し、現在に至っています。2階にある舞台付の大広間は、折上げ格天井、東南2面開口で、東の尾道大橋から西の駅前棧橋方面まで尾道水道を一望できます。客室は網代の舟底天井や竹組の格天井、竹で作った床柱や落し掛けなど竹村家の名前にある「竹」をふんだんに使用し、随所に数寄屋大工の趣向を

凝らした匠の技が見て取れます。建物、門、塀全て平成16年に登録有形文化財に指定されています。

志賀直哉や林芙美子が住んでいた尾道は文学の町としても有名ですが、先々代の女将さんは林芙美子と尾道高等女学校(現県立尾道東高校)時代の同級生だったそうです。戦後は小津安二郎監督の「東京物語」のロケ地に使われ、監督と原節子はじめ俳優陣が宿泊。昭和初期の小津ワールドがそのまま残り、その映像に魅せられて宿泊される観光客も少なくないそうです。平成20年には新藤兼人監督の映画「花は散れども」のロケに使われ、再び銀幕に登場しました。

宿泊や宴会だけでなく、グループで昼食・夕食にも利用でき、料理は瀬戸内の旬の魚料理や茶懐石もいただけます。尾道水道を眺めながら昭和レトロなひと時を過ごしてみたいかたがでしょう。

詳しくは下記のHPを参照ください。

<http://homepage2.nifty.com/takemuraya/>

指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号) 登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号) 登録建築物調査機関(中国地方整備局長登録第1号)

認定低炭素住宅 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 住宅省エネラベル

ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすっぴんカバーしています

Energia
ハウスプラス中国住宅保証株式会社
<http://www.jutakuhosho.com/>

広島本店：広島市中区国泰寺町1-3-32 国泰寺ビル1階
TEL:082-545-5607 FAX:082-545-5608
広島北支店：広島市安佐南区西原6-9-40-7 TEL:082-832-3310 FAX:082-875-4330
福山支店：福山市西深津町1-10-1 TEL:084-973-9143 FAX:084-973-9146

既存建築物の耐震診断・改修計画判定業務を行っています

(既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会加入)

- 指定確認検査機関
- 登録住宅性能評価機関
- 指定構造計算適合性判定機関
- 登録建築物調査機関
- 適合証明業務(フラット35)
- 長期優良住宅認定審査業務
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 調査診断業務(耐震診断等)
- 耐震診断判定業務
- 住宅エコポイント関連業務
- すまい給付金関連業務

URL <http://www.jesupport.jp/>

皆様に、より良いサービスの提供に努めてまいります



株式会社 ジェイ・イー・サポート

代表取締役 石山 講

本社 〒730-0029 広島市中区三川町7-1

TEL:082-546-1378 FAX:082-249-7190

e-mail: mail@jesupport.jp

支店:東京

営業所:呉